

文章を論理的に読解する力の向上 —付箋で分類・整理し、要約する活動を通して—

特別研修員 国語 真下公和(高等学校教諭)

生徒の課題

- ・形式段落の重要度の軽重を見極める力が十分ではない。
- ・文章の結論部分ばかりを意識した要約を書いてしまう。

目指す生徒像

- ・形式段落どうしのつながりを考えながら読解することができる。
- ・文章全体を俯瞰した筆者の主張を要約にまとめることができる。

研究実践

形式段落の内容把握

①形式段落内容を付箋にまとめる

個人



- ・形式段落を読み込み、具体例はできるだけ除き、筆者の意見を中心に抜き出す。
- ・付箋に形式段落ごとに内容をまとめる。

文章構成を考える

②付箋を分類・整理する

個人

グループ



- ・形式段落ごとにまとめた付箋を「まとめシート」に貼っていく。
- ・付箋の順序を並び替えることで、文章の論理性と要点をつかむ。

文章の要旨把握

③整理した付箋をもとに要約する

個人



- ・「まとめシート」の重要部分を抜き出してまとめる。
- ・まとめた要約から筆者の主張を理解する。

成果と課題

- 付箋の整理によって、形式段落どうしの関係を意識した読解ができるようになった。
- グループワークによって、自分の考えが深まり、より論理的な読解ができるようになった。
- 苦手意識を持った生徒でも、自分でまとめや要約を書くことで、文章全体を踏まえた主題に迫ることができた。
- 並び替えることができるという付箋の良さをさらに活かしたい。